

2 組織(繊維・化学)合同講演会のご案内

主催：(公社) 日本技術士会近畿本部 繊維部会・化学部会
協力：(一社) 日本繊維技術士センター

日時：2024年3月9日(土) 13:30~16:30
方式：対面式(会場) および オンライン(Teams 使用) のハイブリッド方式
会場場所：(公社)日本技術士会 近畿本部会議室(近畿富山会館 2階：会場定員 18名)+web 配信

テーマ：「健康・安全・環境に係る技術力の発揮」

《演題1》世界の海水淡水化に貢献する日本の膜技術

《講師》 栗原 優氏 (東レ株式会社フェロー、国際脱塩協会理事)

《要旨》 逆浸透膜法 (RO 法) は海水淡水化や下水の再利用など多くの用途展開が可能である。特に海水淡水化は中東中心に長年蒸発法と競合してきたが、2010年以降は RO 法が70%の市場シェアとなった。技術的には、プラント運転のエネルギーは太陽光発電となり、再生可能電力による RO 淡水化となって、グリーンデサリネーション (環境配慮脱塩) を指向し始めた。さらに従来の海水淡水化技術は造水のみであったが、今後はブライン (濃縮海水) からの資源回収やグリーン水素の製造などの新しい膜技術への挑戦が進行中である。

《演題2》繊維製品の化学物質管理とサステナビリティ

《講師》 兒玉哲夫氏 (技術コンサル"サポサス"代表、化学物質管理士補)

《要旨》 多くの部材や素材からなるアパレル・フットウェア (繊維製品) には様々な化学物質が使われており、直接肌に触れるため、海外では多くの物質が規制されています。国内で規制されている化学物質は、主にホルムアルデヒドと特定のアゾ染料です。一方、業界を取り巻く環境として、水や化学物質の使用、衣類の大量廃棄、人権・労働環境等の問題からグローバル認証も広がっています。今やサステナビリティの取り組みなしに企業活動は成り立たず、化学物質管理を主体としてそのトレンドを紹介します。

参加申込み: 下記 URL より申し込みください

<https://forms.gle/ifHVEaF4onSMmymf9>

会場参加希望でも、会場定員都合で Web 参加に変更をお願いすることがあります。

申込期限：2024年3月7日 (木)

参加費(資料代)：会場参加・Web 参加ともに同額です。

- ・日本技術士会会員・・・・・・・・・・2,000円
- ・日本繊維技術士センター会員・・・・・・・・・・2,000円
- ・近畿本部協賛団体会員・・・・・・・・・・2,000円
- ・その他 (日本技術士会非会員等)・・・・・・・・・・3,000円

参加費振込先：ゆうちょ銀行「日本技術士会近畿本部繊維部会」14020-75221861

なお、ゆうちょ銀行以外の銀行から振り込む場合は、店名四〇八、口座番号 7522186です。

CPD 参加票：講演会終了後に参加者にお送りします。

問い合わせ先

繊維部会担当：城山 義見 TEL 090-6966-8292 Eメール：y.joyama@air.ocn.ne.jp
源中 修一 TEL 080-9304-7205 Eメール：ge65579@yahoo.co.jp